



ファイバチャネル タスク

この章では、Chassis Manager のファイバチャネル タスクについて説明します。内容は次のとおりです。

- [グローバル ITL アトリビュートの設定 \(p.7-2\)](#)
- [SRP ホスト \(イニシエータ\) の表示および管理 \(p.7-4\)](#)
- [ファイバチャネル ターゲットの表示および設定 \(p.7-10\)](#)
- [ファイバチャネル LUN の表示および管理 \(p.7-13\)](#)
- [IT および IT プロパティの表示 \(p.7-16\)](#)
- [ITL および ITL プロパティの表示 \(p.7-18\)](#)
- [グローバル統計情報の表示 \(p.7-20\)](#)
- [VSAN の表示および管理 \(p.7-21\)](#)

グローバル ITL アトリビュートの設定

グローバル Initiator-Target-LUN (ITL) アトリビュートを設定して、デフォルトですべての新しい ITL に適用されるアトリビュートを選択します。これらのアトリビュートの詳細については、『*Fibre Channel Gateway User Guide*』を参照してください。



(注) ITL アトリビュートを変更する場合、変更後に作成された ITL にだけ変更内容が適用されます。既存の ITL は変更されません。

グローバル アトリビュートを設定する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Fibre Channel** を展開します。

ステップ 2 **Global Policies** ブランチを選択します。

View フレームに **Global Policies** ディスプレイが表示されます。

ステップ 3 次のようにホストアトリビュートを設定します。

- a. (任意) **Gateway Port Access** フィールドで **Restricted** チェックボックスをオンにして、次の手順に従います。
 - チェックボックスをオンにして、すべての新しいイニシエータがポートにアクセスできないようにします。
 - チェックボックスをオフにして、すべての新しいイニシエータがポートにアクセスできるようにします。
- b. (任意) **LUN Access** フィールドで **Restricted** チェックボックスをオンにして、次の手順に従います。
 - チェックボックスをオンにして、すべての新しいイニシエータが LUN にアクセスできないようにします。
 - チェックボックスをオフにして、すべての新しいイニシエータが LUN にアクセスできるようにします。

ステップ 4 次のようにランダムアクセス装置のアトリビュートを設定します。

- a. (任意) **ITL HI Mark** フィールドに 1 ~ 256 の整数値を入力します。
- b. (任意) **ITL Max Retries** フィールドに 1 ~ 100 の整数値を入力します。
- c. (任意) **ITL Min I/O Timeout** フィールドに 1 ~ 1800 の整数値を入力します。
- d. (任意) **ITL Dynamic Loading** フィールドで、次のいずれかをクリックします。
 - **Path Affinity** オプション ボタン (すべての新しい ITL 上のダイナミック パス アフィニティをイネーブルにします)
 - **Gateway Port Load Balancing** オプション ボタン (すべての新しい ITL 上のすべてのゲートウェイポート間のロードバランシングをイネーブルにします)
 - **Gateway Port Failover** オプション ボタン (すべての新しい ITL 上の FC ゲートウェイポートフェールオーバーをイネーブルにします)

ステップ 5 次のようにシーケンシャル アクセス装置のアトリビュートを設定します。

- a. (任意) ITL HI Mark フィールドに 1 ~ 256 の整数値を入力します。
- b. (任意) ITL Max Retries フィールドに 1 ~ 100 の整数値を入力します。
- c. (任意) ITL Min I/O Timeout フィールドに 1 ~ 1800 の整数値を入力します。
- d. (任意) ITL Dynamic Loading フィールドで、次のいずれかをクリックします。
 - **Path Affinity** オプション ボタン (すべての新しい ITL 上のダイナミック パス アフィニティをイネーブルにします)
 - **Gateway Port Load Balancing** オプション ボタン (すべての新しい ITL 上のファイバチャネル ゲートウェイ ポート間のロード バランシングをイネーブルにします)
 - **Gateway Port Failover** オプション ボタン (すべての新しい ITL 上の FC ゲートウェイ ポート フェールオーバーをイネーブルにします)

ステップ 6 **Apply** をクリックします。

SRP ホスト（イニシエータ）の表示および管理

次の項で、SRP ホストの表示方法と管理方法について説明します。

- [SRP ホスト（イニシエータ）の表示（p.7-4）](#)
- [SRP ホスト（イニシエータ）プロパティの表示（p.7-4）](#)
- [SRP ホスト（イニシエータ）WWPNの表示（p.7-5）](#)
- [ホストの IT ポリシーの表示（p.7-6）](#)
- [ホストの ITL ポリシーの表示（p.7-6）](#)
- [SRP ホストの追加（p.7-7）](#)
- [SRP ホストの削除（p.7-7）](#)
- [SRP ホスト（イニシエータ）プロパティの設定（p.7-8）](#)
- [SRP ホスト（イニシエータ）WWPNプロパティの設定（p.7-8）](#)

SRP ホスト（イニシエータ）の表示

装置およびサーバスイッチに接続された、ファイバチャネルイニシエータとして機能する SRP ホストを表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Fibre Channel** を展開します。

ステップ 2 **SRP Hosts** ブランチを選択します。

View フレームに、シャーシに接続される SRP ホストの SRP Hosts テーブルが表示されます。[表 7-1](#) で、このテーブルのフィールドについて説明します。

表 7-1 SRP Hosts テーブルのフィールド説明

フィールド	説明
Description	SRP ホストについてユーザが割り当てたテキストの説明
SRP Initiator ID	ホスト GUID および GUID の拡張子
WWNN	SRP ホストの World-Wide Node Name (WWNN)
Ports Registered With	ホストに接続されるサーバスイッチ上のポート

SRP ホスト（イニシエータ）プロパティの表示

SRP ホストのプロパティを表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Fibre Channel** を展開します。

ステップ 2 **SRP Hosts** ブランチを選択します。

View フレームに、シャーシに接続されるすべての SRP ホストが含まれる SRP Hosts テーブルが表示されます。

- ステップ 3** プロパティを表示する SRP ホストの横にあるオプション ボタンをクリックしてから、**Properties** をクリックします。

SRP Host Properties ウィンドウが開きます。表 7-2 で、このウィンドウのフィールドについて説明します。

表 7-2 SRP Host Properties ウィンドウのフィールド

フィールド	説明
SRP Initiator ID	ホスト GUID および GUID の拡張子
Ports Registered With	ホストに接続されるサーバスイッチ上のポート
WWNN	SRP ホストの WWNN
Description	SRP ホストについてユーザが割り当てたテキストの説明
PKeys	SRP ホストのパーティション キー
Boot Target	SRP ホストが起動に使用するイメージを含むターゲットの World-Wide Port Name (WWPN)
Boot LUN	SRP ホストが起動に使用するイメージを含む Logical Unit Number (LUN) の LUN ID
Alternate Boot Target WWPN	イニシエータが仮想ポートを使用してアクセスできる代替ターゲット ポートの WWPN
Alternate Boot FC LUN	代替ターゲット装置の LUN
Action	ホストで実行できるアクションのプルダウン メニューを提供します。アクションを選択してから、 Apply をクリックします。
Result	Action フィールドのプルダウン メニューで実行したアクションの結果を表示します。

SRP ホスト（イニシエータ）WWPN の表示

FC ノードが SRP ホストと通信を行うときに使用する仮想ポートの WWPN を表示する手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** Tree フレームで **Fibre Channel** を展開します。

- ステップ 2** **SRP Hosts** ブランチを選択します。

View フレームに、シャーシに接続されるすべての SRP ホストが含まれる SRP Hosts テーブルが表示されます。

- ステップ 3** WWPN を表示する SRP ホストの横にあるオプション ボタンをクリックします。

- ステップ 4** Show Options ドロップダウン メニューから、**Show WWPNs** を選択します。

View フレームに SRP Host Wwpns テーブルが表示されます。表 7-3 で、このテーブルのフィールドについて説明します。

表 7-3 SRP Host Wwpns テーブルのフィールド説明

フィールド	説明
GUID	SRP ホストの GUID
Extension	SRP ホストの GUID 拡張子
Slot/Port	SRP ホストに仮想ポート WWPN 宛てのトラフィックを渡す物理的な FC ゲートウェイ ポート (slot#/port# 形式)
WWPN	仮想 FC ポートの WWPN
FC Address	仮想 FC ポートの FC アドレス
VSAN ID	FC ポートに設定された VSAN の整数値の ID

ホストの IT ポリシーの表示

ホスト（イニシエータ）が所属する Initiator-Target (IT) ペアの詳細を表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Fibre Channel** を展開します。

ステップ 2 **SRP Hosts** ブランチを選択します。

View フレームに、シャーシに接続されるすべての SRP ホストが含まれる SRP Hosts テーブルが表示されます。

ステップ 3 IT を表示する SRP ホストの横にあるオプション ボタンをクリックします。

ステップ 4 Show Options ドロップダウン メニューから、**Show IT Policies** を選択します。

View フレームに Show IT ディスプレイが表示されますが、選択したイニシエータを含む IT だけが表示されます。詳細については、「[IT および IT プロパティの表示](#)」(p.7-16) または表 7-8 を参照してください。

ホストの ITL ポリシーの表示

ホスト（イニシエータ）が所属する ITL グループの詳細を表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Fibre Channel** を展開します。

ステップ 2 **SRP Hosts** ブランチを選択します。

View フレームに、シャーシに接続されるすべての SRP ホストが含まれる SRP Hosts テーブルが表示されます。

ステップ 3 ITL を表示する SRP ホストの横にあるオプション ボタンをクリックします。

ステップ 4 Show Options ドロップダウンメニューから、**Show ITL Policies** を選択します。

View フレームに Show ITL ディスプレイが表示されますが、選択したイニシエータを含む ITL だけが表示されます。詳細については、「ITL および ITL プロパティの表示」(p.7-18) または表 7-10 を参照してください。

SRP ホストの追加

コンフィギュレーションファイルに SRP ホストを追加する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Fibre Channel** を展開します。

ステップ 2 **SRP Hosts** ブランチを選択します。

View フレームに、シャーシに接続されるすべての SRP ホストが含まれる SRP Hosts テーブルが表示されます。

ステップ 3 **Add** をクリックします。

Add SRP Host ウィンドウが開きます。

ステップ 4 Host GUID フィールドに、新しいイニシエータの GUID を入力します。

ステップ 5 (任意) Description フィールドに、新しいイニシエータの説明を入力します。

ステップ 6 **Apply** をクリックします。

SRP ホストの削除

SRP ホストを削除する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Fibre Channel** アイコンを展開します。

ステップ 2 **SRP Hosts** ブランチを選択します。

View フレームに、シャーシに接続されるすべての SRP ホストが含まれる SRP Hosts テーブルが表示されます。

ステップ 3 コンフィギュレーションファイルから削除するホストの横にあるオプション ボタンをクリックしてから、**Delete** をクリックします。

SRP ホスト（イニシエータ）プロパティの設定

SRP ホストのプロパティを設定する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Fibre Channel** を展開します。

ステップ 2 **SRP Hosts** ブランチを選択します。

View フレームに、シャーシに接続されるすべての SRP ホストが含まれる SRP Hosts テーブルが表示されます。

ステップ 3 プロパティを表示する SRP ホストの横にあるオプション ボタンをクリックしてから、**Properties** をクリックします。

SRP Host Properties ウィンドウが開きます。

ステップ 4 (任意) Description フィールドに、SRP ホストのテキストの説明を入力します。

ステップ 5 (任意) PKeys フィールドに、パーティションキー（またはカンマ区切りのキー）を入力します。

ステップ 6 (任意) Boot Target フィールドに、ブート イメージを保管するターゲットの WWPN を入力します。

ステップ 7 (任意) Boot LUN フィールドに、ブート イメージを保管するディスクの LUN ID を入力します。

ステップ 8 **Apply** をクリックしてから、**Close** をクリックします。

SRP ホスト（イニシエータ）WWPN プロパティの設定

SRP ホストの WWPN のプロパティを設定する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Fibre Channel** を展開します。

ステップ 2 **SRP Hosts** ブランチを選択します。

View フレームに、シャーシに接続されるすべての SRP ホストが含まれる SRP Hosts テーブルが表示されます。

ステップ 3 WWPN を表示する SRP ホストの横にあるオプション ボタンをクリックします。

ステップ 4 Show Options ドロップダウン メニューから、**Show WWPNs** を選択します。

View フレームに、SRP Host WWPNs テーブルが表示されます。

ステップ 5 SRP ホスト WWPN の横にあるオプション ボタンをクリックします。

ステップ 6 View フレームに、SRP Host WWPN Properties テーブルが表示されます。

ステップ7 プロパティを表示する SRP ホスト WWPN の横にあるオプション ボタンをクリックしてから、**Properties** をクリックします。

SRP Host WWPN Properties ウィンドウが開きます。

ステップ8 (任意) FC ポートの VSAN ID を入力します。

ステップ9 **Apply** をクリックしてから、**Close** をクリックします。

ファイバチャネルターゲットの表示および設定

次の項で、ファイバチャネルターゲットの表示方法と設定方法について説明します。

- [ファイバチャネルターゲットの表示 \(p.7-10\)](#)
- [ファイバチャネルターゲット プロパティの表示 \(p.7-10\)](#)
- [ファイバチャネルターゲット プロパティの設定 \(p.7-11\)](#)
- [ターゲットの IT ポリシーの表示 \(p.7-12\)](#)
- [ターゲットの ITL ポリシーの表示 \(p.7-12\)](#)

ファイバチャネルターゲットの表示


サーバスイッチのコンフィギュレーションファイル内のファイバチャネルターゲットを表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Fibre Channel** アイコンを展開します。

ステップ 2 **Targets** ブランチを選択します。

View フレームに、コンフィギュレーションファイルのすべてのターゲットが含まれる **Targets** テーブルが表示されます。表 7-4 で、このテーブルのフィールドについて説明します。

表 7-4 Targets テーブルのフィールド説明

フィールド	説明
WWPN	サーバスイッチがターゲットにアクセスするときに使用するターゲット上のポートの WWPN
Description	ターゲットについてユーザが割り当てた説明  (注) 説明を指定したユーザがない場合、デフォルトの説明が表示されます。
Physical Access	サーバスイッチがターゲットにアクセスするときに使用するサーバスイッチ上のポート (slot#card# 形式)
Connection Type	仮想 FC ポートの場合は nlport を表示し、障害がある接続の場合は down を表示します。

ファイバチャネルターゲット プロパティの表示

ファイバチャネルターゲットのプロパティを表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Fibre Channel** を展開します。

ステップ 2 **Targets** ブランチを選択します。

View フレームに、コンフィギュレーションファイルのすべてのターゲットが含まれる **Targets** テーブルが表示されます。

ステップ 3 プロパティを表示するターゲットの横にあるオプション ボタンをクリックしてから、**Properties** をクリックします。

SRP Target Properties ウィンドウが開きます。表 7-5 で、このウィンドウのフィールドについて説明します。

表 7-5 SRP Target Properties ウィンドウのフィールド説明

フィールド	説明
WWPN	サーバスイッチがターゲットにアクセスするときに使用するターゲット上のポートの WWPN
WWNN	ターゲットの WWNN
FC Address	ターゲットのファイバチャネルアドレス
IOC GUID	イニシエータがターゲットにアクセスするときに使用する InfiniBand I/O Controller (IOC)。Cisco SFS 3012 および Cisco SFS 3001 プラットフォームでは、IOC がファイバチャネル ゲートウェイ スロットを特定します。
Physical Access	サーバスイッチがターゲットにアクセスするときに使用するサーバスイッチ上のポート (slot#/card# 形式)
MTU	ターゲットの最大伝送ユニット (Maximum Transmission Unit; MTU) (バイト単位)
Connection Type	down および nlPort オプション ボタンは、ターゲットに接続タイプを割り当てます。
Description	ターゲットについてユーザが割り当てた説明  (注) 説明を指定したユーザがない場合、デフォルトの説明が表示されます。
Service Name	WWPN に関連付けるサービス名
Active VSAN ID	ファイバチャネルに設定されたアクティブな VSAN の整数値の ID

ファイバチャネル ターゲット プロパティの設定

ファイバチャネル ターゲットのプロパティを設定する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Fibre Channel** を展開します。

ステップ 2 **Targets** ブランチを選択します。

View フレームに、コンフィギュレーション ファイルのすべてのターゲットが含まれる Targets テーブルが表示されます。

ステップ 3 プロパティを表示するターゲットの横にあるオプション ボタンをクリックしてから、**Properties** をクリックします。

SRP Target Properties ウィンドウが開きます。

■ ファイバチャネルターゲットの表示および設定

- ステップ 4** (任意) **down** または **nlPort** オプション ボタンをクリックして、ターゲットの接続タイプを設定します。
- ステップ 5** **Apply** をクリックしてから、**Close** をクリックします。
-

ターゲットの IT ポリシーの表示

ターゲットが所属する IT ペアの詳細を表示する手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** Tree フレームで **Fibre Channel** を展開します。

- ステップ 2** **Targets** ブランチを選択します。

View フレームに、シャーシに接続されるすべての FC ターゲットが含まれる **Targets** テーブルが表示されます。

- ステップ 3** IT を表示するターゲットの横にあるオプション ボタンをクリックします。

- ステップ 4** Show Options ドロップダウン メニューから、**Show IT Policies** を選択します。

View フレームに ITs ディスプレイが表示されますが、選択したターゲットを含む IT だけが表示されます。詳細については、「[IT および IT プロパティの表示](#)」(p.7-16) または表 7-8 を参照してください。

ターゲットの ITL ポリシーの表示

ターゲットが所属する ITL グループの詳細を表示する手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** Tree フレームで **Fibre Channel** を展開します。

- ステップ 2** **SRP Hosts** ブランチを選択します。

View フレームに、シャーシに接続されるすべての FC ターゲットが含まれる **Targets** テーブルが表示されます。

- ステップ 3** ITL を表示するターゲットの横にあるオプション ボタンをクリックします。

- ステップ 4** Show Options ドロップダウン メニューから、**Show ITL Policies** を選択します。

View フレームに ITLs ディスプレイが表示されますが、選択したターゲットを含む ITL だけが表示されます。詳細については、「[ITL および ITL プロパティの表示](#)」(p.7-18) または表 7-10 を参照してください。

ファイバチャネル LUN の表示および管理

次の項で、ファイバチャネル LUN の表示方法と管理方法について説明します。

- [ファイバチャネル LUN の表示 \(p.7-13\)](#)
- [ファイバチャネル LUN プロパティの表示 \(p.7-13\)](#)
- [ファイバチャネル LUN プロパティの設定 \(p.7-14\)](#)
- [LUN の ITL ポリシーの表示 \(p.7-15\)](#)

ファイバチャネル LUN の表示

サーバスイッチのコンフィギュレーション ファイル内の Logical Unit (LU; 論理ユニット) (FC ストレージディスク) を表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Fibre Channel** を展開します。

ステップ 2 **Logical Units** ブランチを選択します。

View フレームに、コンフィギュレーション ファイルのすべての LU が含まれる Logical Units テーブルが表示されます。表 7-6 で、このテーブルのフィールドについて説明します。

表 7-6 Logical Units テーブルのフィールドの説明

フィールド	説明
Logical ID	LU (ディスク) の論理 ID
Description	LU についてユーザが割り当てた説明 説明を指定したユーザがない場合、デフォルトの説明が表示されます。
Physical Access	サーバスイッチが LU にアクセスするときに使用する物理的な FC ゲートウェイポート

ファイバチャネル LUN プロパティの表示

ファイバチャネル LUN プロパティを表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Fibre Channel** を展開します。

ステップ 2 **Logical Units** ブランチを選択します。

View フレームに、コンフィギュレーション ファイルのすべての LU が含まれる Logical Units テーブルが表示されます。

ステップ 3 プロパティを表示する LUN の横にあるオプションボタンをクリックしてから、**Properties** をクリックします。

SRP LUN Properties ウィンドウが開きます。表 7-7 で、このウィンドウのフィールドについて説明します。

表 7-7 SRP LUN Properties ウィンドウのフィールド説明

フィールド	説明
Logical ID	LUN の論理 ID
Device Category	ディスク装置とテープ装置をそれぞれ特定するために、 random および sequential オプション ボタンを提供します。
Inquiry Data	LU について取得した SCSI 問い合わせデータ
Physical Access	LUN にアクセスできるサーバスイッチ上のポート
Description	LUN についてユーザが割り当てた説明
Hi Mark	ITL が保持できるイニシエータからストレージへの未解決要求の最大数
Max Retry	LUN がイニシエータがアクセス不能であると特定するまで試行される失敗通信数
Min IO Timeout	SRP 要求がタイムアウトするまでに経過する最大時間
Size	LUN のサイズ
Dynamic Pathing	次のオプション ボタンを提供します。 <ul style="list-style-type: none"> • Path Affinity この機能は、速度と効率を向上させるために、データ転送中にパスへのストレージ接続をロックします。 • Gateway Port Load Balancing この機能は、FC ゲートウェイ カードの両ポートが同じストレージにアクセスできる場合に、トラフィックを均等に両ポートに分散します。 • Gateway Port Failover この機能は、両ポートが同じストレージにアクセスできる場合に、FC ゲートウェイ上の一方のポートを休止状態にして、もう一方のポートがダウンしたら、そのポートのトラフィックを取り入れられるようにします。

ファイバチャネル LUN プロパティの設定

ファイバチャネル LUN プロパティを設定する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Fibre Channel** を展開します。

ステップ 2 **Logical Units** ブランチを選択します。

View フレームに、コンフィギュレーション ファイルのすべての LU が含まれる Logical Units テーブルが表示されます。

ステップ 3 プロパティを表示する LUN の横にあるオプション ボタンをクリックしてから、**Properties** をクリックします。

SRP LUN Properties ウィンドウが開きます。

ステップ 4 (任意) Device Category フィールドの **random** または **sequential** オプション ボタンを選択します。

- ステップ 5 (任意) Description フィールドに説明を入力します。
 - ステップ 6 (任意) Hi Mark フィールドに整数値を入力します。
 - ステップ 7 (任意) Max Retry フィールドに整数値を入力します。
 - ステップ 8 (任意) Min IO Timeout フィールドに整数値を入力します。
 - ステップ 9 (任意) Dynamic Pathing フィールドのオプション ボタンをクリックします。
 - ステップ 10 **Apply** をクリックしてから、**Close** をクリックします。
-

LUN の ITL ポリシーの表示

LUN が所属する ITL グループの詳細を表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Fibre Channel** を展開します。

ステップ 2 **Logical Units** ブランチを選択します。

View フレームに、シャーシに接続されるすべての FC ターゲットが含まれる Logical Units テーブルが表示されます。

ステップ 3 ITL を表示する LUN の横にあるオプション ボタンをクリックします。

ステップ 4 Show Options プルダウン メニューから **Show ITL Policies** を選択します。

View フレームに **ITLs** ディスプレイが表示されますが、選択した LUN を含む ITL だけが表示されます。詳細については、「[ITL および ITL プロパティの表示](#)」(p.7-18) または表 7-10 を参照してください。

IT および IT プロパティの表示

次の項で、IT および IT プロパティの表示方法について説明します。

- [IT の表示 \(p.7-16\)](#)
- [IT プロパティの表示 \(p.7-16\)](#)

IT の表示

サーバスイッチの IT ペアを表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Fibre Channel** を展開します。

ステップ 2 ITs ブランチを選択します。

View フレームに IT テーブルが表示されます。表 7-8 で、このテーブルのフィールドについて説明します。

表 7-8 ITs テーブルのフィールド説明

フィールド	説明
SRP Initiator ID	イニシエータ (ホスト) の GUID
Target WWPN	ターゲットの WWPN
Current Access	ホストが現在ターゲットにアクセスするときを使用している物理的な FC ゲートウェイ ポート
Physical Access	ホストがターゲットにアクセスすることができる物理的な FC ゲートウェイ ポート

IT プロパティの表示

詳細な IT ペアのプロパティを表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Fibre Channel** を展開します。

ステップ 2 ITs ブランチを選択します。

View フレームに ITs テーブルが表示されます。

ステップ 3 プロパティを表示する IT ペアの横にあるオプション ボタンをクリックしてから、**Properties** をクリックします。

SRP IT Properties ウィンドウが開きます。表 7-9 で、このウィンドウのフィールドについて説明します。

表 7-9 SRP IT Properties ウィンドウのフィールド説明

フィールド	説明
SRP Initiator ID	ホストの GUID
Target WWPN	ターゲットの WWPN
Description	IT についてユーザが割り当てた説明
Current Access	ホストが現在ターゲットにアクセスするときに使用している物理的な FC ゲートウェイポート
Physical Access	ホストがターゲットにアクセスすることができる物理的な FC ゲートウェイポート
Port Mask	シャーシのすべての FC ゲートウェイカードおよび FC ゲートウェイポートのチェックボックスを表示します。チェックボックスがオンになっているポートでは、イニシエータがターゲットにアクセスできます。
Mode	このフィールドのアクティブ オプション ボタンは、モードの設定を表します。Normal オプション ボタンは、IT ペアが正常に機能するように設定します。Test オプション ボタンは、イニシエータの HBA が関与しなくても、この IT の ITL ログインを行うようにゲートウェイを設定します。 IT ペアのモードを変更して、テスト モードに変更することはできません。
Action pull-down menu	イニシエータがターゲットの LUN を使用して形成できる ITL を検出します。
Result	Action プルダウン メニューから Discover ITLs を選択してから Apply をクリックした場合の、アクションのステータスを表示します。

ITL および ITL プロパティの表示

次の項で、ITL および ITL プロパティの表示方法について説明します。

- [ITL の表示 \(p.7-18\)](#)
- [ITL プロパティの表示 \(p.7-18\)](#)

ITL の表示

ITL プロパティを表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Fibre Channel** を展開します。

ステップ 2 ITLs ブランチを選択します。

View フレームに ITLs テーブルが表示されます。[表 7-10](#) で、このテーブルのフィールドについて説明します。

表 7-10 ITLs テーブルのフィールド説明

フィールド	説明
SRP Initiator ID	イニシエータ (ホスト) の GUID
Target WWPN	ターゲットの WWPN
FC LUN ID	ターゲットのディスクまたはテープのファイバチャネル ID。最初の LUN の ID は常に 00:00:00:00:00:00:00:00 になります。後続の LUN の ID は 16 進表記で 1 ずつ増えます。
LUN Logical ID	ターゲットのディスクまたはテープの論理 ID

ITL プロパティの表示

詳細な ITL プロパティを表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Fibre Channel** を展開します。

ステップ 2 ITLs ブランチを選択します。

View フレームに ITLs テーブルが表示されます。

ステップ 3 プロパティを表示する ITL の横にあるオプション ボタンをクリックしてから、**Properties** をクリックします。

SRP ITL Properties ウィンドウが開きます。[表 7-11](#) で、このウィンドウのフィールドについて説明します。

表 7-11 SRP ITL Properties ウィンドウのフィールド説明

フィールド	説明
SRP Initiator ID	イニシエータ (ホスト) の GUID
Target WWPN	ターゲットの WWPN
FC LUN ID	ターゲットのディスクまたはテープのファイバチャネル ID。最初の LUN の ID は常に 00:00:00:00:00:00:00:00 になります。後続の LUN の ID は 16 進表記で 1 ずつ増えます。
LUN Logical ID	ターゲットのディスクまたはテープの論理 ID
Device Category	ランダム (ディスク) またはシーケンシャル (テープ) として LUN を特定します。
Description	ITL についてユーザが割り当てたテキスト ID
SRP LUN ID	ターゲットのディスクまたはテープの SRP ID。最初の LUN の ID は常に 00:00:00:00:00:00:00:00 になります。後続の LUN の ID は 16 進表記で 1 ずつ増えます。
Physical Access	ホストが現在 LUN にアクセスするときに使用している物理的な FC ゲートウェイポート
Current Access	ホストが LUN にアクセスすることができる物理的な FC ゲートウェイポート
Port Mask	シャーシのすべての FC ゲートウェイカードおよび FC ゲートウェイポートのチェックボックスを表示します。チェックボックスがオンになっているポートでは、イニシエータが LUN にアクセスできます。

グローバル統計情報の表示

グローバル SRP 統計情報を表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Fibre Channel** を展開します。

ステップ 2 **Global Statistics** ブランチを選択します。

View フレームに SRP Global Statistics ディスプレイが表示されます。表 7-12 で、このディスプレイのフィールドについて説明します。

表 7-12 SRP Global Statistics ディスプレイのフィールド説明

フィールド	説明
Link Events	ファイバチャネルインターフェイス ゲートウェイによって処理されたリンク イベント (リンク アップ、リンク ダウン) の合計
SRP Initiated IOs	SRP イニシエータによって要求された I/O トランザクションの合計
SRP Commands Completed	ファイバチャネルインターフェイス ゲートウェイ上で完了した SRP コマンドの合計
SRP Bytes Read	このシャーシに接続されている SRP イニシエータによって読み取られた I/O バイトの合計
SRP Bytes Written	SRP イニシエータによって書き込まれた I/O バイトの合計
SRP Connections	SRP イニシエータによって使用された接続の合計
SRP Commands Outstanding	ファイバチャネルインターフェイス ゲートウェイ上で未解決の SRP コマンドの合計
SRP Errors	ファイバチャネルインターフェイス ゲートウェイで発生した SRP エラーの合計
FCP Initiated IOs	SRP イニシエータ要求に対するファイバチャネル装置による I/O 応答の合計
FCP Commands Completed	ファイバチャネルインターフェイス ゲートウェイ上で完了した FCP コマンドの合計
FCP Bytes Read	ターゲット装置によって読み取られた I/O バイトの合計
FCP Bytes Written	ターゲット装置によって書き込まれた I/O バイトの合計
FCP Commands Outstanding	ファイバチャネルインターフェイス ゲートウェイ上で未解決の FCP コマンドの合計
FCP Errors	ファイバチャネルインターフェイス ゲートウェイで発生した FCP エラーの合計

VSAN の表示および管理

次の項で、ブリッジグループの表示方法と管理方法について説明します。

- VSAN の表示 (p.7-21)
- VSAN プロパティの表示 (p.7-21)
- VSAN の追加 (p.7-22)
- VSAN の設定 (p.7-22)
- VSAN の削除 (p.7-23)

VSAN の表示

サーバスイッチ上の VSAN を表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Fibre Channel** を展開します。

ステップ 2 VSANs ブランチを選択します。

View フレームに VSANs テーブルが表示されます。表 7-13 で、このディスプレイのフィールドを示し、その内容について説明します。

表 7-13 VSAN フィールドの説明

フィールド	説明
VSAN ID	ファイバチャネルに割り当てられた VSAN の整数値 VSAN に割り当てられたデフォルト値は 1 です。ユーザは 1 ~ 4093 の任意の数を割り当てることができますが、デフォルト値は 4094 です。
Name	VSAN の名前 これは、VSAN の次に VSAN ID の 4 桁の数字列を併記して表されます (VSAN0001 など)。
Admin Status	VSAN の管理ステータス
Current Status	VSAN の現在のステータス

VSAN プロパティの表示

VSAN のプロパティを表示する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Fibre Channel** を展開します。

ステップ 2 VSANs ブランチを選択します。

View フレームに VSANs テーブルが表示されます。

ステップ 3 表示するプロパティの VSAN の横にあるオプション ボタンをクリックしてから、**Properties** をクリックします。

VSANs Properties ウィンドウが開き、選択された VSAN のプロパティが表示されます。表 7-14 に、このウィンドウのフィールドを示します。

表 7-14 VSAN プロパティのフィールドの説明

フィールド	説明
VSAN ID	ファイバチャネルに割り当てられた VSAN の整数値
Name	VSAN の名前を表示します。
Admin Status	VSAN の管理ステータス VSAN のアクティブ、または一時停止の状態がオプション ボタンで表示されます。
Current Status	VSAN の現在のステータスを表示します。

VSAN の追加

新しい VSAN を作成する手順は、次のとおりです。

-
- ステップ 1** Tree フレームで **Fibre Channel** を展開します。
- ステップ 2** VSANs ブランチを選択します。
- View フレームに VSANs テーブルが表示されます。
- ステップ 3** **Add** をクリックします。
- Add VSAN ウィンドウが表示されます。
- ステップ 4** ID フィールドに、VSAN の ID 番号を入力します。ID 番号として、1 ~ 4093 の任意のディジットを入力できます。
- ステップ 5** (任意) Name フィールドに、VSAN の名前を入力します。
- ステップ 6** (任意) Admin Status フィールドで、**active** または **suspend** オプション ボタンをクリックして、VSAN をアクティブまたは一時停止にします。
- ステップ 7** **Apply** をクリックします。
-

VSAN の設定

VSAN のプロパティを設定する手順は、次のとおりです。

-
- ステップ 1** Tree フレームで Fibre Channel を展開します。
- ステップ 2** VSAN ブランチを選択します。
- View フレームに VSAN テーブルが表示されます。

ステップ 3 設定するプロパティの VSAN の横にあるオプション ボタンをクリックしてから、**Properties** をクリックします。

VSAN Properties ウィンドウが開きます。

ステップ 4 (任意) Name フィールドに、VSAN の名前を入力します。

ステップ 5 active または suspend オプション ボタンをクリックして、VSAN をイネーブルまたはディセーブルにします。

- アクティブ ステートは、VSAN が設定されていてイネーブルであることを示します。VSAN がイネーブルである場合、この VSAN のサービスはアクティブ化されています。
- 一時停止ステートは、VSAN は設定されていて、ディセーブルであることを示します。VSAN がディセーブルにされている場合、その設定を失わずに VSAN を無効にできます。

ステップ 6 **Apply** をクリックします。

VSAN の削除

VSAN を削除する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 Tree フレームで **Fibre Channel** を展開します。

ステップ 2 VSANs ブランチを選択します。

View フレームに VSANs テーブルが表示されます。

ステップ 3 削除する VSAN の横にあるオプション ボタンをクリックしてから、**Delete** をクリックします。



(注) **Delete** をクリックしたあと、確認メッセージは表示されません。VSAN は、すぐに削除されます。
